

電気通信大学 平成19年度シラバス

授業科目名	システム工学特別実験第一		
英文授業科目名	Advanced Laboratory of System Engineering 1		
開講年度	2007年度	開講年次	
開講学期	通年	開講コース・課程	博士前期課程
授業の方法		単位数	6
科目区分	電気通信学研究科-システム工学専攻-専門科目		
開講学科・専攻	システム工学専攻		
担当教官名	各指導教員		
居室			

公開E-Mail	授業関連Webページ

<b>【主題および達成目標】</b>
<p>主題：</p> <p>それぞれの専門分野について指導教員から指導を受け、研究を通して問題の分析と解決のプロセスを経験する。</p> <p>達成目標：</p> <p>先端領域での変化に柔軟に対応できる基礎的能力、新課題の発見力、問題の分析力・解決力を修得するし、高度な専門性を備えた研究者・技術者にとって必要な能力を身につける。</p>

<b>【前もって履修しておくべき科目】</b>
指導教員の指示に従うこと。

<b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b>
指導教員の指示に従うこと。

<b>【教科書等】</b>
指導教員の指示に従うこと。

## 電気通信大学 平成19年度シラバス

### 【授業内容とその進め方】

#### 授業内容：

学生が取り組む研究的実験課題を学生の希望を考慮して指導教員が決定し、学生の研究活動全般について指導する。

#### 進め方：

具体的には、過去の研究レビュー、対象研究の位置付け並びに価値評価、課題への分析方法，並びに実験方法、データ整理・分析法、考察、論文作成法、研究成果の発表方法について、指導教員が学生に対して個別指導する。

### 【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

研究実験課題の計画・実施・分析・考察への学生の取組姿勢とその結果得られた成果によって成績を評価する。

### 【オフィスアワー：授業相談】

指導教員の指示に従うこと。

### 【学生へのメッセージ】

自ら解決する能力を身につけるため実験課題への積極的な取組みを希望する。

### 【その他】